

A40 (三輪・纏向・織田)

【 『古事記』大神神社の創祭主 】

～ 若宮社 おおたたねこ 大直禰子神社 ～



大神神社二の鳥居の北方約百三十メートルに鎮座しているこの大直禰子神社は、一般おおたたねこに「若宮さん」と呼ばれて親しまれています。ご祭神は大直禰子ですが、『日本書紀』によると、崇神天皇が国に災いが多いことを懸念されていたところ、占いで、「大物主大神の子である大直禰子が大物主大神を祀ることで災いが収まる」と言われたことを受け、大直禰子を探し出し、大物主大神をお祀りすると、災いがなくなったと言われています。

神社本殿は、明治以前に神宮寺であった大御輪寺の本堂であったとされ、重要文化財に指定されています。

(桜井市 三輪)